



《 特色 》 石橋高校の「総合的な探究の時間」は、将来を見通し、自己の在り方・生き方を考える進路学習が軸になっています。テーマ研究では、テーマの大枠を各教科が設定し、夏休み中のフィールドワークなど体験的な要素も取り入れながら、主体的に学び、課題を解決する資質・能力の育成を目指しています。

年間予定

- 1年**
- 5月 講座「探究とは何か？」
 - 7月 講座「思考の整理方法」
思考ツールの使い方について
 - 9月 講座「対話力について」
対話の実践、コンセンサスゲーム
 - 10月 講座「課題に気付く」
 - 1月 テーマ研究ガイダンス
テーマ研究講演会(オープニング)
テーマ設定

- 2年**
- 5月 テーマ研究講演会(研究手法について)
探究活動開始
 - 7～8月 体験活動
 - 9月 テーマ研究実践(情報収集、整理・分析)
 - 11月 中間発表
 - 1～2月 論文作成、発表会
 - 3月 代表作品発表会

point1

探究活動を進める上で必要な基礎講座を、学校独自のワークシートを使用して実施する。

《 生徒の感想 》

- ・例題をグループで話し合い、徹底的に討論するのがおもしろかった。
- ・発想を整理して論理的に組み立てていく方法が分かった。

point2

各教科から研究テーマの大枠を複数出してもらい、生徒に提示する。生徒は、それらを参考にしながら、自らの興味・関心や将来の進路を踏まえ、最終的なテーマを設定する。

《 教科から提示された研究テーマの例 》

- 国語・英語「言語習得に関する研究」 数学「確率に関する研究」
- 歴史「地域、日本等の歴史」 理科「教科書の実験を探究する」
- 保健体育「スポーツ科学に関する研究」
- 美術「よいデザインとは？」 家庭「ふるさとの味を探してみよう」

point3

夏休みを活用して様々な体験活動に参加し、フィールドワーク、実験、取材、アンケートを行うなどして情報の収集を行う。

《 主な研究テーマと体験活動 》

- ・「国際移住と開発」
→第3回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN)に参加
- ・「インド式計算の研究」 →福島工業高等専門学校を訪問
- ・「ピタゴラス数の研究」 →株式会社カナメホールディングスを訪問



point4

ポスターやプレゼンテーションソフトによる発表会を実施。1年生も参加し、各研究の評価を行うなどして自らの研究の参考にする。

《 主な研究テーマ 》

- ・「終末期がん患者のその人らしさを支えるために」
医療機関への綿密な取材を基に、終末期医療についての意見をまとめた。
- ・「色彩とマーケティングの関係」
色彩が購買意欲に及ぼす影響を専門機関と連携して調査した。実際の店舗での実践を検証してまとめ、さらに自らの考えや夢を語った。
- ・「マイコンを用いた脈拍計測と環境比較」
Arduinoと心拍センサを用いて、簡単な心電図を描く装置を作成し、ウェアラブルなホルダの開発のために必要な要素について研究した。



これまでの主な取組

- **テーマ研究は、平成13年度から開始**
「総合的な学習の時間」において自己の在り方・生き方を考えることを目的に開始した。
- **教育方針、教育目標の改訂**
教育改革の流れを受け、職員から意見を募り、探究活動で育てたい資質・能力を明確にした。
- **進路指導部が主軸となり計画立案**
- **ルーブリックによる評価**
教員による評価、生徒による自己評価、相互評価をルーブリックを基に実施している。
- **ポートフォリオの蓄積**
活動の記録を生徒がスマートフォン等に入力して蓄積している。



これから目指す取組

- **オンラインを活用した探究活動を検討**
- **高大連携を促進**
大学にテーマ研究の指導助言を依頼する。
- **体験活動の新たな受け入れ先の開拓**



《 担当者の声 》 進路指導部 「総合的な探究の時間」 担当 北條 岳彦

テーマ研究を通して生徒たちの主体性が高まり、学習意欲の向上へとつながっています。また、生徒たちが進路を選択する上でもテーマ研究の経験は活かされています。今後は、大学とのオンラインによる連携も交えながら、さらに充実した取組にしていきたいと考えています。